

令和5年度
政策要望書

Innovational faction

新和会

大津市議会 OTSU SHINWA-KAI

大津市議会新和会

令和4年10月11日

大津市長
佐藤 健司 様

令和5年度予算編成に向けた会派政策要望について

平素は、会派の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

執行部におかれましては、「夢があふれるまち大津」の実現に向け、総合計画第2期実行計画に掲げた各種施策を推進するとともに、市長のリーダーシップのもと、市内一丸となって鋭意取り組まれていることに対し、重ねて御礼を申し上げます。

さて、人口減少や少子高齢化が進展する中、長期化するコロナ禍や激甚化・頻発化する自然災害への対応など、地方自治体に求められる役割はますます増大しており、限られた行財政資源の効率的・効果的な運用に向け、難しい舵取りが求められています。

新和会といたしましても、常に市民に寄り添う議員として、地域の皆さまや各種団体からのご要望、また職員から寄せられる声などを踏まえ、施策のあり方や進め方について議論を交わしているところです。

つきましては、新型コロナウイルス感染症対策など、大変厳しい財政状況とは存じますが、会派としての政策要望を別紙のとおり取りまとめましたので、その趣旨を十分に精査され、予算編成に取り組まれますようお願いいたします。

大津市議会新和会

幹事長 仲野 弘子

副幹事長 八田 憲児

副幹事長 幸光 正嗣

幹事 津田 新三

幹事 井内 律子

政調会長 河村 浩史

副政調会長 鳥井 義徳

笠谷 洋佑

神田 健次

細川 俊行

議長 伴 孝昭

副議長 西村 和典

目 次

【政 策 要 望】

1. 最重点要望
2. 部局重点要望
 - (1)政策調整部
 - (2)総務部
 - (3)市民部
 - (4)福祉部
 - (5)健康保険部
 - (6)産業観光部
 - (7)環境部
 - (8)都市計画部
 - (9)建設部
 - (10)教育委員会
 - (11)消防局
 - (12)企業局

【最重点要望】

1. 大津市総合計画第2期実行計画の着実な推進について

2021年から2024年までを計画期間とする「大津市総合計画第2期実行計画」を推進するため、各施策における進捗管理の徹底及び中期財政フレームの適切な見直しを並行して進められたい。

継続

2. 子どもに対する医療費助成制度の拡充について

県内の子どもがどこに住んでいても公平に医療費助成を受けることができ、また、子育て世帯の経済負担が軽減されるよう、中学校卒業までを対象とする新しい医療費助成制度の創設を国や県に強く求められるとともに、市としても医療費助成制度の拡充の早期実現に向けた検討に努められたい。

新規

3. 市役所庁舎整備について

庁舎整備基本計画の策定にあたっては、基本構想を基軸として、様々な声に耳を傾け、市民サービスの向上や効率化、環境への配慮など、あらゆる観点を踏まえた十分な検討の上、市民や事業者に慕われる庁舎の1日も早い整備の実現に向け取り組まれたい。

継続

4. 公共施設の長寿命化について

学校園や支所をはじめとする施設の長寿命化計画を遅滞なく実施し、全庁的な公共施設マネジメントの効率的な進捗管理を図られたい。

継続

5. 大津湖岸なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトの推進と周辺整備について、下記事項を全庁一体となって進められたい。

新規

- (1) 渋滞緩和対策
- (2) 周辺環境と調和した整備
- (3) 魅力発信などの広報活動
- (4) M I C E の推進やカーボンニュートラルの取り組み

6. 2024年放映予定の大河ドラマによる観光等への波及効果が一過性のものとならないよう、下記事項について、観光活性化への取り組みを進められたい。

新規

- (1) 一過性の盛り上がりとしないための戦略的な観光関係団体との連携
- (2) 周辺道路を含む環境整備

【部局重点要望】

<政策調整部>

1. 部局間の一層の連携を図り、大津市・志賀町合併建設計画に基づく事業を着実に実施されたい。

継続
2. 人口維持及び大津市での定住を目指し、様々な施策を講じられたい。

継続
3. 複雑多様化するLGBTQやジェンダーなどの課題については、広く市民の意見を取り入れ、慎重に検討されたい。

継続
4. 市民生活の利便性向上や行政事務の効率化などデジタルイノベーション戦略に掲げられる事業の着実な推進を図られたい。

新規
5. 業務の効率化や簡素化、職員の負担軽減を図るとともに、市民にとってもわかりやすい内容となるよう、各種計画の統合や重複する業務の一本化など、行政改革に不断に取り組まれたい。（総務部と再掲）

新規
6. 過去に経験のない物価高騰に鑑み、市民の暮らしと命を守るためのあらゆる経済的支援について、国や県と連携を図り、積極的に施策を講じられたい。

（産業観光部と再掲）
新規
7. 行政が本来行うべき事業について指定管理者制度だけに頼らず、地域や様々な仕組みを活用し、事業にあった管理運営の手法を検討されたい。（総務部と再掲）

新規

<総務部>

1. 頻発化・激甚化する自然災害から、市民の生命と財産を守るため、国土強靱化に向け災害に強いまちづくりの推進に一層努められたい。

継続

2. 「大津市公共施設総合管理計画」に基づき、施設の長寿命化や予防保全、複合化など、戦略的かつ計画的な整備検討に取り組みられたい。

新規

3. 「大津市原子力災害避難計画」の実効性を高めるため、滋賀県との連携を図り、より実践的な原子力防災訓練を実施することにより、万が一の事態に備えた市民の防災意識醸成に向けた啓発に努められたい。

継続

4. 入札業務の円滑な執行に向け、チェック体制の徹底と適切な運用に努められたい。

継続

5. 大津市の公共事業及び入札業務については、市内業者の育成支援の観点から市内業者との契約が増加するよう一定の発注条件を付するなど、市内業者の参入確保の観点からの契約制度の柔軟な運用に努められたい。

継続

6. 職員の配置にあっては、今般のコロナ対応による過度な負担や、複雑多様化する市民ニーズへの対応等に鑑み、実情に応じた適切なあり方について検討を進めるとともに、人員確保や組織編制も含め迅速かつ柔軟に取り組みられたい。

新規

7. 業務の効率化や簡素化、職員の負担軽減を図るとともに、市民にとってもわかりやすい内容となるよう、各種計画の統合や重複する業務の一本化など、行政改革に不断に取り組みられたい。（政策調整部と再掲）

新規

8. 行政が本来行うべき事業について指定管理者制度だけに頼らず、地域や様々な仕組みを活用し、事業にあった管理運営の手法を検討されたい。（政策調整部と再掲）

新規

9. 本市所有の遊休地の有効活用に向けた検討を計画的に進められたい。

継続

<市民部>

1. 地域コミュニティ組織の根幹となる自治会の加入促進及び自治会活動の活性化に向け、各種団体と連携を図りながらモデル地域の成果を生かし積極的に取り組まれない。

継続

2. 少子高齢化やライフスタイルの変化による地域活動の担い手不足や多様化する住民ニーズに対応するため、地域の実情に合わせて設立されるまちづくり協議会の設立・運営を、補助金の見直しも含め積極的に支援されたい。

継続

3. 半数以上が築30年となる市民センター施設について、適切な予算確保を行い、年次的かつ計画的に修繕や維持管理を行うとともに、老朽化の著しい市民センターにあっては建て替えも含めて検討されたい。

追記

4. 市立小学校のグラウンドのトイレについては、児童の利用はもちろんのこと、学校開放においても多くの方が利用され、また災害時の避難場所にも指定されていることから、老朽化したトイレについて、洋式化も含めた整備及び修繕を早急に図られたい。

継続

5. 毎日マラソンのレガシーとしての「びわ湖マラソン大会」については、市民協働による全国から誇れる大会となるよう積極的に取り組まれない。

継続

6. 2025年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、検討委員会を立ち上げ着実な施設整備を進めてきたところであるが、滋賀県やスポーツ関係団体とも連携し、地元アスリートの育成を積極的に図られたい。

追記

7. 大津市スポーツ推進計画、同実施計画（アクションプラン）に則り、進捗状況や効果を検証し、スポーツ振興と生涯スポーツ・障害者スポーツの推進に引き続き取り組まれない。

継続

8. 地域からの要望が出されているJR大津京駅前、JR比叡山坂本駅前への交番移設・新設について、早期実現に向け、滋賀県と連携のうえ取り組まれない。

継続

9. 今後も人口増加が予想される本市東南部地域を管轄する「仮称 大津東警察署」の整備を滋賀県公安委員会に引き続き強く求められたい。

継続

10. 大津警察署及び大津北警察署との連携協定に基づき、交通事故や特殊詐欺防止など、安心安全なまちづくりに向け、継続的に取り組まれない。

継続

11. 中学校施設にナイター施設を整備し、学校開放や地域利用を検討されたい。

継続

<福祉部>

1. 狭隘化や感染症対策などが課題となっている児童クラブの環境整備に向け、年次的な施設整備や民間児童クラブの積極的な誘致に取り組むとともに、増加する民間児童クラブとの連携を図られたい。

追記
2. 児童クラブ指導員の雇用については、子どもへの指導に支障がないよう適正な人員配置に努められたい。

継続
3. 児童虐待防止に向けた取り組みの充実を図るとともに、専門職員の増員及び処遇の改善に努められたい。

継続
4. 市立幼稚園の子ども園化を検討されたい。

継続
5. 子育て世帯への経済的支援の更なる拡充について検討されたい。

継続
6. 民生委員・児童委員の負担軽減策及び担い手不足に関して、地域への支援に積極的に取り組まれたい。

継続
7. 現在、国において「こども家庭庁」の2023年4月発足に向けた準備が進められているなか、本市福祉部の所管する業務が年々増加していることにも鑑み、今年度に福祉部内に設置された「子ども未来局」を独立した部局に格上げするなど、全庁的な組織の再編を検討されたい。

追記
8. 子ども若者相談窓口の人的体制の充実を図られたい。

新規
9. 障害者の就労支援に積極的に取り組むとともに、新規の補助制度だけでなく、継続的な取組における補助制度を構築されたい。

新規

10. 重層的支援体制の早期構築に向けて取り組みを強化されたい。

新規

<健康保険部>

1. コロナ禍が長期化するなか、高齢者虐待等の相談者が増加していることから、専門職を充実するよう取り組まれない。

新規

2. 市民病院の経営については、病院と十分な協議を行うとともに必要な財政措置を遅滞なく実施されたい。

継続

3. 高齢者が増加していることを踏まえ、老朽化した特別養護老人ホーム数を維持するため早急に建て替えの支援を図られたい。

継続

4. 要支援者・要介護者の増加に対応するため、あんしん長寿相談所のさらなる設置を検討されたい。

継続

5. 小規模企業に対して従業員の健康診断の必要性の周知に努められたい。

継続

6. 大津市がん対策推進条例に基づき、がんの早期発見・早期治療を図り、がん患者及びその家族などへの支援を充実するなど、がんになっても安心して暮らせる社会の構築に努められたい。とりわけ、子宮頸がんの予防については対策の強化に努められたい。

継続

7. 動物愛護について、複雑困難化する課題への対応のため、全庁横断的に取り組みを進めるとともに、警察や滋賀県またNPOなど多様な主体との連携を積極的に図られたい。

新規

8. 新型コロナウイルスなどの感染症対策をはじめ、市民の安全安心な暮らしを確保するため、専任職員の増員も含め、機能及び体制強化を図られたい。

新規

9. 帯状疱疹ワクチンについて、市民への周知・啓発を図るとともに、接種費用に対する補助金の早期導入を検討されたい。

新規

10. 国民皆歯科検診に先駆けて、20歳から70歳まで、5歳刻みでの歯周病検診の実施を検討されたい。

新規

11. 本市の実情に応じた歯科口腔保健の施策が実施されるよう、歯科口腔保健の推進に関する法律第15条第1項に規定する「口腔保健支援センター」を設置することを検討されたい。

新規

<産業観光部>

1. 大津三大祭り（山王祭・船幸祭・大津祭）を春・夏・秋を彩る観光資源として位置付け、継続的な財政支援と一層のPRに努められたい。

継続

2. 琵琶湖疏水通船運航及び湖上交通の活用や旧東海道を活かした観光振興において、京都市との連携強化を継続的に推進されたい。

継続

3. ナショナルサイクルルートに指定されているビワイチを誘客ツールとするため、サイクリングロードのPRに取り組むとともに、安全を考慮し、関係部署と連携して道路の舗装・自転車道の整備を進められたい。（建設部と再掲）

継続

4. 耕作放棄地の増加に歯止めをかけるため、新規営農者を育成するなど、農業の後継者育成対策に取り組まれたい。

継続

5. 大津市農業振興ビジョンに基づき、農業振興の積極的な事業推進を図られたい。

継続

6. 企業・大型商業施設の誘致促進と環境づくりに積極的に取り組まれたい。

継続

7. 増加する鳥獣被害に対して対策を講じるとともに、市内猟友会の後継者不足に対する支援策を検討されたい。

継続

8. 市街地で増加している鳥被害に対し、効果的な対策を講じられたい。

継続

9. ほ場整備事業の推進を計画的に進められたい。

継続

<環境部>

1. 近年、集中豪雨により頻発化・激甚化する土砂災害防止のため、盛土などの危険箇所について国や滋賀県とも連携し、把握・対策に努められたい。

継続
2. 本市の優れた自然環境を保全するため、地域住民や企業とも連携を図りながら、不法投棄の監視を引き続き徹底されたい。

継続
3. 環境美化センター及び北部クリーンセンターが安心安全に稼働するよう運営事業者に対する指導・監督を行い、ごみ減量推進本部での協議や市民の声に耳を傾けながらごみの減量及び再資源化を推進されたい。

継続
4. 自らごみ集積所へ排出することが困難な高齢者や障害者を支援するための、ごみ出し支援戸別収集サービスについての周知をより一層図られたい。

新規
5. 「大津環境人を育む行動計画」に基づき、学校教育や市民等への環境教育を引き続き推進されたい。

継続
6. ごみステーション補助については、前年度の実績や事前の相談状況等に応じた柔軟かつ実情に応じた予算の確保に努められたい。

継続
7. 琵琶湖市民清掃について引き続き積極的に支援されたい。

継続
8. 琵琶湖の水草除去に関する諸課題の解消に向け、琵琶湖の景観を守るためにも、市として国や滋賀県に積極的に働きかけを実施されたい。また琵琶湖の環境保全のために取り組む団体への積極的な支援を行うとともに、子どもや周辺住民への適切な指導に努められたい。

継続

9. 喫煙場所が少なくなる中で、JR・京阪電車の主要駅に、受動喫煙の影響を受けないマナースポットの設置を進められたい。また、たばこのポイ捨て防止の強化を進められたい。

継続

<都市計画部>

1. 大津市歴史的風致維持向上計画により認定された「堅田地域」「坂本地域」「大津百町地域」の重点区域について、歴史的建造物の老朽化や解体などによる歴史的風致の喪失が危惧されている。については、これらの課題解決を図るため、国とも連携を図り、地域の関係者と十分に協議を進めながら、各種施策の展開を図られたい。

継続
2. 市民の健康増進を図るため、健康遊具の設置など、多機能型公園の検討を進められたい。

継続
3. 児童公園、児童遊園地、都市公園の今後のあり方に関し、遊具の必要性や公園の用途等について、改めて検討されたい。

継続
4. 「第4次大津市緑の基本計画」に基づき、児童遊園地適正化に向けた地域参画や用途変更などの事業推進を図られたい。

新規
5. 「大津市空家等の適正管理に関する条例」に基づき、近隣住民に重大な影響を及ぼす空家については、地域の良好な生活環境を保全する対策を講じられたい。

継続
6. 老朽化が進む市営住宅の計画的な改修と統廃合に向け取り組まれたい。

継続
7. 「大津市住宅マネジメント計画」に基づき政策的空家の活用を検討されたい。

継続
8. 湖西台地区については、都市計画マスタープランにおいて「北部地域の活力の源泉となる可能性を秘めている」との位置付けであり、大津市総合計画第2期実行計画では用地の土地利用に向けた調査の項目が掲げられているが、大津市として都市計画道路3・4・5 2号堅田駅西口線を含め、早急に湖西台の利活用が図られるよう調査を実施されたい。

継続

9. 「大津市歴史的風致維持向上計画」となぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトが相乗効果を生むよう、庁内連携の下で進められたい。

新規

10. 里道や開拓財産の整備・安全対策について、国に対し要望されたい。

継続

11. 都市計画道路網の見直しにあたり、影響を受ける住民等に対し丁寧な説明をされたい。

新規

12. 都市計画道路網の見直し及び道路網整備計画の策定において、整備が難しいと判断された路線について、ルート変更などの代替案の検討を適切に行われたい。

（建設部と再掲）

新規

13. 都市公園におけるテニスコートの予約や利用状況について、公共施設の公平な利用の観点からの検証を行われたい。

新規

<建設部>

1. 国幹事業の促進に向け、下記事項について関係機関と引き続き連携を図られたい。

継続

- (1)大戸川ダムの整備促進
- (2)大津放水路の整備促進
- (3)新名神高速道路の整備促進
- (4)国道161号改良の整備促進
- (5)国道1号大津・山科バイパスの整備促進

2. 北陸新幹線延伸に伴う並行在来線は存在しないことについて、滋賀県とともに国及びJR西日本に対し、引き続き強く働きかけられたい。

継続

3. 堅田内湖については、治水や利水を前提とした水位調整のみならず、水質の問題、水辺の環境保全、さらには、堅田の文化や歴史を活かした観光資源としての課題があるとの認識の下で、地元と協議し課題解決に向けて鋭意取り組まれたい。

新規

4. JR瀬田駅及び膳所駅における新快速電車の停車、また通勤快速電車の導入などについて、引き続きJR西日本に要望されたい。

継続

5. JR湖西線の運行ダイヤの維持及び利便性の向上に向けて、滋賀県と協力してJR西日本に対して要望されたい。

継続

6. 現在策定中の道路網整備計画において、具体的な整備計画を示すアクションプログラムに都市計画道路3・5・101号本市堅田衣川線など主要路線を積極的に位置付け、整備時期を明らかにしていくとともに、国からの財源確保と、計画的な事業進捗に努められたい。

継続

7. 道路網整備計画の再策定にあたり、事業着手中の2路線の着実な整備と整備計画の確実な推進に向け取り組まれたい。

新規

8. 都市計画道路網の見直し及び道路網整備計画の策定において、整備が難しいと判断された路線について、ルート変更などの代替案の検討を適切に行われたい。

（都市計画部と再掲）

新規

9. 高齢化の進展などを踏まえ、地域の足としても公共交通の利用促進に努められたい。

新規

10. 利用減少により、バス路線が廃止・減便される交通不便地域について、デマンドタクシーやコミュニティバスなど、地域毎の実情に合わせた代替手段の導入を切れ目なく検討されたい。

継続

11. 市道、市道橋、歩道及び側溝、工作物の計画的な維持管理を図られたい。

継続

12. 県で進められている県道南郷桐生上田上線の整備に伴い通行量が増えることが予想される稲津橋について、架け替えを県と連携して進められたい。

新規

13. 近年の豪雨災害に鑑み、側溝や河川整備の整備指針を早急に見直されたい。

継続

14. 現在進められている国道477号の4車線化工事早期完工に向け、国や滋賀県との連携を一層図られたい。

継続

15. 交通安全対策の積極的な推進のため、道路パトロールの強化を図るとともに道路管理システムの周知を図られたい。

継続

16. 今後もJR瀬田駅の乗降客数の増加が見込まれることから、今年度の調査を踏まえ、地域との協議も進めながら、早急に瀬田駅前広場の整備計画を策定されたい。

継続

17. 都市計画道路3・4・21号本堅田真野線の早期全線開通に向け、必要な予算を措置するとともに、周辺道路の安全対策を適宜実施されたい。

継続

18. 県が管理する河川の整備に対し、国や県に強く要望されたい。

継続

19. ナショナルサイクルルートに指定されているビワイチを誘客ツールとするため、サイクリングロードのPRに取り組むとともに、安全を考慮し、関係部署と連携して道路の舗装・自転車道の整備を進められたい。（産業観光部と再掲）

継続

<教育委員会>

1. 「大津市・志賀町合併建設計画」に基づく事業である小松公民館については地元協議が整っていることを踏まえ、早期の建設に向けて積極的に取り組まれない。

継続

2. 老朽化した学校施設の年次的な整備を進めるとともに、引き続きトイレの洋式化及び改修について早急に取り組み、子どもたちの教育環境の改善を図られたい。

継続

3. 小中学校の規模適正化を進めるにあたっては、地域住民の声に十分耳を傾け、慎重に対応されたい。

継続

4. 学校給食における安全対策や県内を含めた地産地消の推進を図るとともに、アレルギー対策については、アレルギー対応が可能な施設の利用による課題解消を検討されたい。

追記

5. 人口動向や地域の意向を踏まえ、学校の特色を活かした新たな特認校などを検討されたい。

継続

6. 広報おおつや大津市議会広報紙を活用し、主権者教育の充実及び市政への関心惹起を図られたい。

追記

7. 児童生徒の読書は人間性の育成や学力向上の面からも有効であることから、子どもたちのために図書室の利用促進及び書籍の充実を図るとともに、人材の充実を図られたい。

継続

8. コミュニティ・スクールにおける運営協議会や学校協力者会議の充実を図り、地域の資源を活用するとともに、学校の資源を積極的に開放する地域に開かれた学校づくりの一層の推進を図られたい。

追記

9. 高校入試について、発達障害のある生徒の個々の実情に応じた合理的配慮が十分に
行われるよう、滋賀県教育委員会に要望されたい。

継続

10. 養護学校における狭隘化をはじめとする各種課題の解決に向け、国や滋賀県・周辺
自治体とも連携し、広域的に取り組まされたい。

継続

11. G I G Aスクール構想に基づき、学習用タブレット端末の整備が進んでいるが、学
校やクラスによって利用頻度の差が生じていることから実演指導や講習の充実を図
るとともに、多様な教育機会で活用されるよう、次世代型教育の充実を図られたい。

新規

12. 一人一台のタブレット端末の整備が進むなか、低学年からの情報モラル教育のより
一層の充実を図られたい。

新規

13. 老朽化が進む各校のプールの活用法、水泳指導の外部委託などを検討されたい。

新規

<消防局>

1. 消防車両を含め資器材の適切な維持管理と適正な更新を進められたい。

継続

2. 中消防署の着実な整備と東消防署の増改築及び機能強化に向け、早急に取り組まれたい。

継続

3. 老朽化した消火栓、貯水槽の年次的な整備に取り組まれたい。

継続

4. 地域消防団の消防自動車や資機材について、適切な維持管理と適正な更新を進められたい。

継続

5. 北消防署特別救助隊に対する効果的な研修、また資機材の一層の整備について、計画的に取り組まれたい。

継続

<企業局>

1. 中長期経営計画の着実な進捗を図るとともに、経営の効率化、顧客サービスの向上を基本とし、安全で安心な水道及びガスの供給に努められたい。

継続

2. 市内全域における水道水施設の耐震化及び老朽化した配管の耐震化を早急に整備されたい。

継続

3. 下水道料金の無届問題を受け、井戸水などの利用による下水道使用の実態について、全市的に調査し、適切に運用されたい。

継続